

第一支部研修 ガイド実践「皇居東御苑」研修終了報告

～英語によるモデルガイディングと実践練習～

2019年9月3日(火) 09:30-12:30、皇居東御苑において表記ガイド実践研修が実施されました。愛知県や群馬県からもご参加され、参加者は会員15名、非会員1名、委員1名の合計17名でした。心配された暑さも幾分和らいだ曇り空の下、皆さん熱心にガイド実践研修に取り組みました。最初に矢木野さか恵理事による英語でのモデルガイディングを聞きながら、大手門を通り、旧江戸城内へ。枳形と呼ばれるL字型の門により、敵の攻撃から防御する仕組みの説明や、1657年の明暦の大火の後に作られたシャチホコの説明を聞きながら、三の丸尚蔵館前を通り、皇居警察の武道場である済寧館へ。平日は武道の練習の掛け声がよく聞こえるとの説明を聞きながら、同心番所を通り、百人番所前へ行き、江戸城で使われている石組の説明を聞きました。その後、沢本和歌子第一支部委員に交代し、中之門跡と大番所をとおり、火事で黒く焼けた跡の残る石垣の中雀門を過ぎて、本丸跡地へ。

現在、本丸大芝生の場所は11月14,15日に行われる大嘗祭の殿舎建設の為、大部分が柵で囲われ、天守台には行けず、多くのガイドポイントは遠方から説明せざるを得ない状態でしたが、沢本講師はまず、江戸城本丸に唯一残る富士見櫓に行き、明暦の大火の後に再建され、焼失した天守閣の代わりに使用されたこともある櫓の説明をされました。その後、本丸大芝生の中程の工事用の柵で囲われた場所へ行き、大嘗祭の建物の完成図の前で、本来見えるはずの天守台や1966年に完成した桃華楽堂についての説明をされました。



その後、二の丸庭園を矢木野講師がモデルガイディングし、サルズベリが満開の庭園を歩きながら、桜やつつじ、菖蒲の説明や、池の周りにあるシャガの花などの説明をされました。その後、諏訪の茶屋を見ながら、都道府県の木が植えてある場所を歩き、モデルガイディングを終了しました。そして、3グループに分かれ、それぞれ、モデルガイディングのルートをたどりながら、参加者がガイド実践を1時間半、代わる代わる実践しました。最後に質疑応答で、時間が限られている時の回り方の質問などがありました。最後は皆さん、大いにガイディングの自信を得たようで、今後の皆さんの活躍に大いに期待が持てる研修となりました。

